

かなでだより

令和3年9月2日発行

9月号

猛暑もようやく過ぎ去り、秋風の心地よい時節となりました。さて、今回は「学習に対する気持ちや取り組み方」についてお伝えいたします。

- 親から見て、「なぜ、勉強を頑張ってくれないの？怠けているの？」と思い、子どもを心配するあまり、あれこれ口出ししてしまったり、「勉強しなさい」など子どもを叱ってしまうと悪循環に陥りがちです。

ですが、子どもも学習に取り組む中で、「努力しているのに、どうしてうまくいかないのだろうか」と思っているかもしれません。学習を怠けているわけではないのにうまくいかない理由として、そもそも力を発揮できない原因があるかもしれません。嫌いな科目は処理しきれない刺激として捉えている場合や環境や特性のためにうまく学習することが難しかったり、学習方法や評価方法が不適切な可能性が考えられます。

<処理しきれない刺激>

そもそも人には好き嫌いがあり、好きなものと嫌いなものでは注目も興味関心の度合も異なります。



個人差はありますが、その苦手な科目が「答えが一つではない科目」「抽象度の高い科目」を苦手としているとき、「処理しきれない刺激」となり集中することが難しくなります。

<環境や特性>

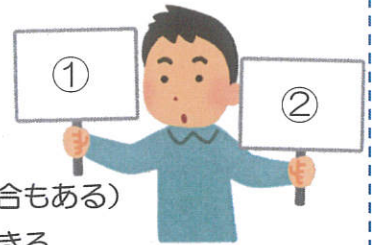
たとえ好きな科目であっても生活リズムの乱れや学校内にあふれる刺激を受け、疲れやすくなっている場合もあります。そのため、刺激で脳が疲弊してしまい、眠気が出てきてしまっているのです。



<学習方法や評価方法>

学習や評価の仕方が合っていないため、力を発揮することができていない場合があります。

- ・ 選択方式では答えられないけど、自由記述なら理解を示すことができる（逆の場合もある）
 - ・ 同じ選択式でもマークシートは苦手だが、選択肢の数字に○をつける方式ならできる
 - ・ 言葉での説明は難しくても、絵が図など視覚的に説明をすると理解していることを示すことができる など
- その子に合った学習法、評価法を見つけることが大切です。学習が適切に評価されないままだと、自己評価が下がったり、他者からからかわれて学校や勉強がイヤになってしまうことがあります。



<工夫とヒント>

◎その子にあった

勉強法を見つけよう◎

ひとりひとりにあった学習方法や評価の仕方をする事でその子どものやる気を高め、学ぶチャンスを保障することができます。

◎見通しを

立てることを助けよう◎

どの科目からどんな風に取り組むのか、始めは一緒に、徐々に自分で「すべきこと」を確認し順序立てしていけるようになります。

◎上手な気分転換◎

タイマーを使ったり、学習時間を区切り気分転換できるよう促します。気分転換するときはその子がしたいことやリラックスできることを取り入れましょう。

何かで不明な点や心配なことがございましたら、ご相談ください。

<放課後等デイサービスかなで> TEL : 011-596-9915 HP : <https://www.jyfld.co.jp>